



## 第 44 回 府立人研 研究集会 開催要項

1. テー マ 「児童・生徒たちの生きる現実をとらえ直す学校・社会の創造 ～つながりを未来へのチカラに～」
2. 日 時 2025 年 1 月 31 日(金)  
全体会 10 時 00 分～12 時 30 分（受付 9 時 30 分より）  
分科会 14 時 00 分～17 時 00 分（受付 13 時 30 分より）
3. 場 所 大阪府立市岡高等学校（大阪市港区市岡元町 2－12－12）
4. 主 催 大阪府立学校人権教育研究会
5. 協 力 大阪府人権教育研究協議会
6. 後 援 大阪府教育委員会  
大阪私立学校人権教育研究会  
一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会
7. 資 料 代 1,000 円 / 人  
※今年度は会場の受付で現金でお支払いください。  
※第 54 回大阪府人権教育研究豊能大会(10/25～26)に参加された方は、当日その参加券についております本研究集会参加券をお持ちください。資料代が不要になります。
8. 申込方法 別紙「参加申込用紙」を記入し、府立人研事務局宛に E-Mail、FAX、郵送、または逡送便で 1 月 23 日（木） までに送付してください。
9. そ の 他 ・分科会会場の広さの関係で、事前にお申し込みいただいていない場合は、希望の分科会にご参加いただけないことがあります。ご了解ください。  
・昼食は各自でご用意ください。
10. プログラム

○全体会 10：00 ～ 12：30 （受付開始 9：30）

全体会	
“学校らしさ”を超え、これからの学校の可能性を拓く	
講師：盛岡 栄市さん（大阪市立心和中学校 校長）	
<p>来校者に思わず「まるで学校ではないみたい！」という印象を抱かせる大阪市立心和中学校は、府内の公立学校初の「学びの多様化学校」として 2024 年 4 月に開校しました。公教育として、不登校経験や不登校傾向のある生徒を支えるために、既存の学校のあり方を根本から見直し、様々なアイデアを取り入れた学習環境づくりに取り組まれています。</p> <p>開校からおよそ 1 年、試行錯誤の中で積み重ねてこられた教育実践をお話しいただきます。府立学校においても「学びの多様化学校」の設置は検討されており、今回の全体会はその先進事例に学ぶ貴重な機会です。私たちが無意識のうちに抱いている学校像を問い直し、誰も取り残さない学校のあり方を一緒に考えてみませんか？</p>	

第1分科会	第2分科会	第3分科会
<p>『学校に染まるな！』 ～「理想の学校」なんていない～</p> <p><b>対談</b></p> <p>おおた としまささん (教育ジャーナリスト) 池田 拓也さん (灘中学校・灘高等学校) 大阪府教育センター附属高等学校 府立布施北高等学校</p>	<p>こどもアドボカシーについて考える ～こどものエンパワメントや レジリエンスの視点から～</p> <p><b>講師</b></p> <p>中村 みどりさん (Children's Views &amp; Voices 副代表)</p>	<p>スマホ時代を生きる 子どもたちへの支援</p> <p><b>講師</b></p> <p>富田 幸子さん (ソーシャルメディア研究会チーフ研究員)</p>
<p>学校取材のスペシャリストである教育ジャーナリストのおおたさんにお越しいただき、灘中学校・灘高等学校の池田さん、大阪府教育センター附属高等学校、府立布施北高等学校との対話形式で進める企画です。</p> <p>講演タイトルは、おおたさんの著書『学校に染まるな！ バカとルール無限増殖』(ちくまプリマー新書)をもとにしています。学校の役割から、教職員の役割、公教育の役割、受験について、不登校について、教育と社会のかかわりについて、教育格差や体験格差の議論まで、縦横無尽に語り尽くしていただきます。</p> <p>日ごろおおたさんは学校を外から見て論じています。おおたさんの視点を知ることは、ふだん学校の中から見ている教職員の視点を相対化する機会となるはずです。</p> <p>*書籍販売あり</p>	<p>2023年4月1日「こども家庭庁」「こども基本法」がスタートし、日本で初めての子どもの権利を包括的に保障する法律が施行されました。一方で、貧困や虐待、いじめや不登校等、こどもたちを取り巻く状況は厳しくもあります。</p> <p>おとなたちはいったいどれほど、こどもの心の声を聴けているのでしょうか？また、こどもたちにとって、相談しやすいおとなのモデルってどんなもののでしょうか？この分科会では、特に社会的養護を必要とするこどもたちに日々関わって居場所づくりをおこない、こどもたちの心の声を聴いてケアをされているソーシャルワーカーさんをお招きします。</p> <p>実際にこどもたちから寄せられた意見や声から相談しやすい環境やモデル、またこどもたちがエンパワメントやレジリエンスするためにおとなができること等について講演いただきます。いろいろな立場や役割でこどもたちに関わる参加者のみなさんとともにこどもアドボカシーについて考えを深める機会にしたいと思います。</p>	<p>海外では SNS の利用を規制する法案が提出されました。世界全体が、子どもたちの育成に与える SNS の影響を危惧しています。日本においては、GIGA スクール構想の中、小学校低学年からタブレット等の端末が活用されるようになり、スマホの所持も年々低年齢化の傾向がみられます。今や子どもたちの生活になくてはならないものになっているスマホ・インターネットですが、自分たちの生活を便利に、豊かにする反面、SNS やゲームをめぐるトラブルも多く起きています。</p> <p>とはいえ、スマホ・インターネットのない世界に、私たちは逆戻りすることはできません。「スマホ・SNS を利用するな」という指導も現実味がありません。この分科会では、子どもたちを取り巻いている今の社会状況や子どもの SNS 利用の実態を(オリジナル動画をもとに)まず大人が知り、子どもたちとコミュニケーションをどのように学んでいくのか、子どもたちがネットやスマホだけに頼らない生活のあり方について、学校ができることを先生方と一緒に考えていきたいと思います。</p>

大阪府立学校人権教育研究会(府立人研)事務局

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 大阪府立柴島高等学校内

TEL & FAX 06-6324-3822 E-Mail: furitsujinken@nifty.com

※ お問い合わせは、なるべく E-Mail でお願いします。お電話の場合は火・金曜日をお願いします。